

平成 23 年 10 月 5 日

受益者の皆様へ

T&D アセットマネジメント株式会社

欧米株式市場の下落と「T & Dワールドコモディティ株投資1106  
(限定通貨選択 - 米州大陸通貨 - )」への影響について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
欧米株式市場の足許の市場動向と「T & Dワールドコモディティ株投資1106(限定通貨選択 - 米州大陸通貨 - )」への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。  
今後ともお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

足許の市場動向

10月3日は世界的に株式市場が大きく下落しましたが、その主な要因としては以下の理由が考えられます。

先週末の9月30日に、景気の不透明感が強まったにもかかわらず、ユーロ圏の9月の消費者物価が3%と市場予想を大幅に上回って上昇し、利下げ期待が後退したため、欧州をはじめ米国で株式市場が大きく下落しました。加えて、10月2日には、ギリシャ政府が2011年の財政赤字削減目標を達成できないと発表し、欧州連合(EU)などによる支援継続への懸念が広がりました。

またアジア地域では、中国物流購入連合会が10月1日に発表した9月の中国製造業購買担当者景気指数(PMI)はわずかながら改善したものの力強さに欠けるものとなった一方で、中国現地メディアの報道で中小企業の資金繰り悪化への警戒感が広がるなど、世界経済の牽引役のひとつである中国の今後の景気減速への懸念が強まりました。

この様な環境の中、原油先物価格に加え、景気敏感株などが大幅下落する展開となりました。保有銘柄の中では、とりわけCNHやアグコなどグローバルに農業機械を展開している銘柄に加え、ヤラ・インターナショナルやモザイクなどの肥料銘柄が基準価額に対しマイナス寄与する展開となりました。

今後の見通し

世界の株式市場では、リスク回避姿勢が強まっており、世界的な景気後退懸念に加え、欧州債務問題や中国の景気後退懸念が市場のセンチメントの足かせになる展開が継続すると予想します。

そのため、足許の市場環境が、短期的にコモディティ価格及び関連株にとって、向かい風となる可能性が考えられます。しかしながら、需給逼迫を背景としたコモディティの中長期的な価格の上昇見通しを維持しますので、基本的な運用方針に変更はありません。

## 当社ファンドへの影響

ファンド名	平成 23 年 10 月 3 日 基準価額 (円)	平成 23 年 10 月 4 日 基準価額 (円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
T & Dワールドコモディティ株投資1106 (限定通貨選択 - 米州大陸通貨 - )	6,776	6,431	345	5.09

## 市況情報

(小数点第 2 位以下四捨五入)

	平成 23 年 9 月 30 日	平成 23 年 10 月 3 日	騰落率 (%)
S & P G S C I コモディティ インデックス (エクセスリターン)	435.20	431.24	0.91

海外の市場については基準価額への影響を考慮し、9月30日から10月3日としています。

	平成 23 年 10 月 3 日	平成 23 年 10 月 4 日	騰落率 (%)
カナダドル(*1)	73.57	72.75	1.11
メキシコペソ(*2)	5.57	5.46	1.97
ブラジルリアル(*3)	40.75	40.25	1.21

(\*1) 為替レートは三菱東京 UFJ 銀行の対顧客公示相場の仲値(TTM)

(\*2) 為替レートはゴールドマンサックス証券の対顧客公示相場の仲値

(\*3) ブラジルリアルの為替レートは、前NY営業日のNY16:00頃のNDFレート(リアル/米ドル)と当日のTTM(米ドル/円)とのクロスレートを表示しています。

出所: ブルームバーグ

文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。海外市場のデータは基準価額への反映を考慮して1営業日前のものを使用しています。

### ご留意いただきたい事項

- ◆ 本資料は受益者の皆様に T&D アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載した情報は、当資料作成時点におけるものであり、将来の運用成果を予想あるいは保証するものではありません。
- ◆ 投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- ◆ 投資信託はリスクを含む商品であり、株式および公社債等値動きのある証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。
- ◆ 運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。